

2023年4月

会員各位

BIPROGY研究会
新潟支部

2023年度 研究活動 参加者募集のご案内

拝啓

日頃よりBIPROGY研究会活動にご協力、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。
BIPROGY研究会では会員の皆様が日常業務の中で抱えている課題や社会課題等を研究テーマとし、テーマに関する知見を取得するのみに留まらず課題を克服すべく仮説を立て検証し、研究活動成果を報告書として取り纏め発表していただく、研究活動を行っています。

ビジネスヒントの発掘や企業の枠を超えた人材育成、異業種交流の場という目的としてご利用ください。活動を通じて自社へ活動成果をしっかりと持ち帰っていただけるように、研究グループ毎にBIPROGYグループ社員によるアドバイザー制度や運営メンバー、事務局によるフォローをしっかりと行っていきたいと思います。

5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴い、対面での活動を増やし、異業種交流での人脈、視野の拡大に活かしていただきたいと思います。

以下ご覧いただき、多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

1. 研究活動の目的

- ・異業種交流(社外の年齢や経験、役職の枠を超えたメンバーとの交流)
- ・人材育成(課題解決、仮説検証、チームビルディング、プロジェクトマネジメント、ファシリテーション、ドキュメンテーション、プレゼンテーション、コミュニケーション能力の向上)
- ・業務外分野探求への挑戦(失敗を恐れずチャレンジできるプロジェクト)
- ・働き方改革による新しい活動形態への挑戦
- ・活動成果の社外への発信(発表会やWeb掲載を通して参加者・参加会社の知名度アップ)

2. 研究テーマ

「2023年度研究活動 募集キーワード一覧」<添付資料2>をご参照下さい。

今年度新潟支部では、研究活動のキーワードをご提案させていただきます。

活動開始後、参加メンバーの皆様で協議の上、最終テーマを決めて頂きます。

3. 参加資格

BIPROGY 研究会会員企業（企業の方であればどなたでも参加いただけます。）
主体的に取り組む意欲のある方を募集いたします。

4. 参加費用

- ① 本年度研究活動費として1企業あたり、 ¥20,000 をお申し受けます。
 - * 参加人数に係わらず、1企業あたり、 ¥20,000
 - * 参加メンバー確定後、「連絡責任者」へ参加費用をご請求させていただきます。
尚、請求書送付先が連絡責任者と異なる場合は申し込みの際に連絡欄にご記入願います。
- ② 活動のための移動交通費、宿泊などの経費は参加者の負担とさせていただきます。

5. 申し込み方法

<https://form.biprogy.com/public/seminar/view/25031>

上記 Webまたは<添付資料3>の参加申込書をご記入の上FAXでお申し込みください。
（日中にご連絡が取れる連絡先をご記入いただきますようお願いいたします。）

■ 2023年 5月12日(金)までにお申し込みください。

6. 研究活動の運営について

- ① グループ活動は1チーム5～7程度とさせていただきますが、お申し込み状況によって判断させていただきます。
- ② 主体はご参加いただく皆様です。
基本的にはグループに参加された方の自主活動で日中の業務時間内での会議が中心となりますのでご了承ください。
また、BIPROGY グループもアドバイザーとして皆様の活動を支援いたします。

7. 活動期間と今後の予定

- ① 本年5月より2月末まで（発表会を除く）研究活動でグループにより差がありますが日中の通常業務時間内でグループ単位にて調整いただく会合として月2回程度の会合を見込みます。
活動のテーマにもよりますが、活動自体の回数、時間を多く費やすことは決していいことではありません。
ご自分の業務に支障をきたす活動は本来の活動の形ではありませんので、参加者が活動しやすいよう、社内調整やバックアップにご協力頂きます様お願い致します。

テーマ選定にあたっては、テーマに関しての知見取得に時間を費やし、ストーリーを

組み立てられなくなる様に、グループ内で工夫して頂き、アドバイザーの助言を得ながら進めてください。

② 発足式及び第1回会合

発足式及び第1回会合は5月24日(水)15時からを予定しております。

詳細はグループ成立後に改めてご連絡いたします。

③ サマースクール

各グループリーダー、サブリーダーを対象に9月1日(金)～2日(土)に

グループの中間報告をしていただくサマースクールを開催予定です。

④ 活動報告書提出

来年1月26日(金)に活動成果を「研究活動報告書」として提出していただきます。

* 研究活動運営委員の皆様により、活動報告書の表現力・構成力はもとより、
実用性・有効性、先進性・独創性・独自性などの面を考慮して査読審査をさせていただきます。

⑤ 発表会

来年3月8日(金)に「研究活動成果発表会」としてグループメンバー以外の方々に
向けて発表をしていただきます。

8. お問い合わせ先

BIPROGY研究会新潟支部事務局

E-mail:biprogy-ken-niigata@biprogy.com

TEL:025-247-7321 FAX:025-243-8698

9. その他

ご報告いただいた研究活動成果(研究活動報告書、プレゼン資料その他資料を含みます。)の著作権は著作者に帰属するものとします。但し、著作者は、BIPROGY研究会が情報発信する機関誌や Web サイトにおいて、著作者の研究活動成果の掲載・配布に関する権利(個人名・会社名・所属先の公開を含みます。)を BIPROGY研究会に無償で許諾するものとします。

この時期、会員様のご担当者の変更手続きが間に合わずに以前に登録された方へお送りしてしまう場合がございますが予めご容赦いただきますようお願いいたします。

添付資料1. 研究活動を支える体制

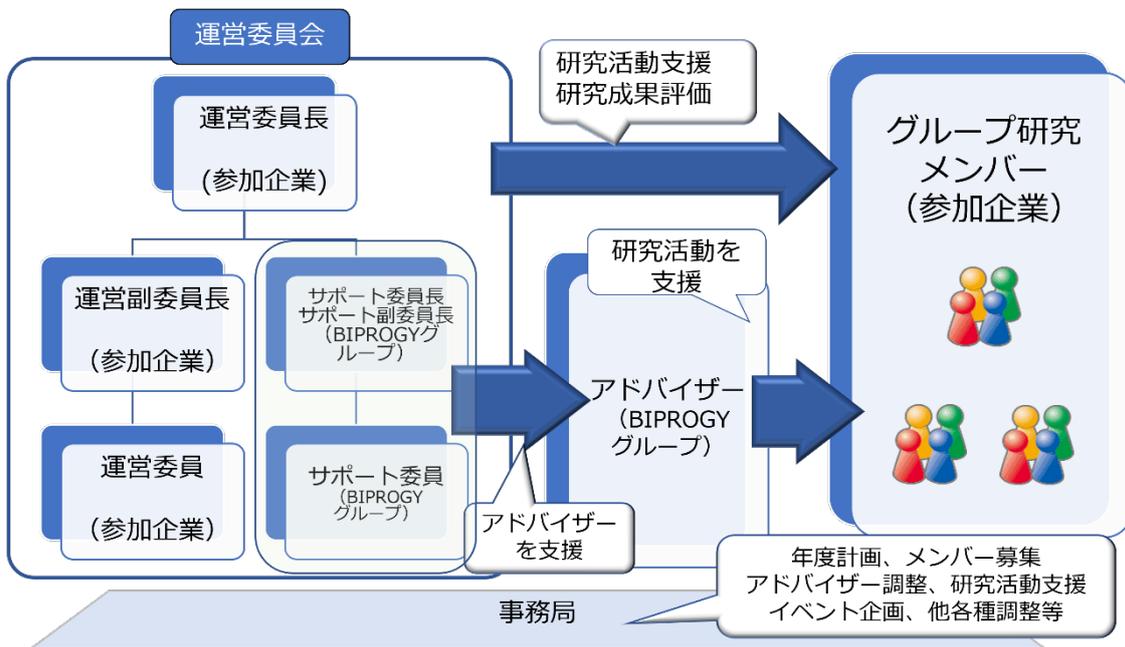
2. 2023年度研究活動 募集キーワード一覧

3. 参加申込書

以上

《添付資料1》 ■ 研究活動を支える体制

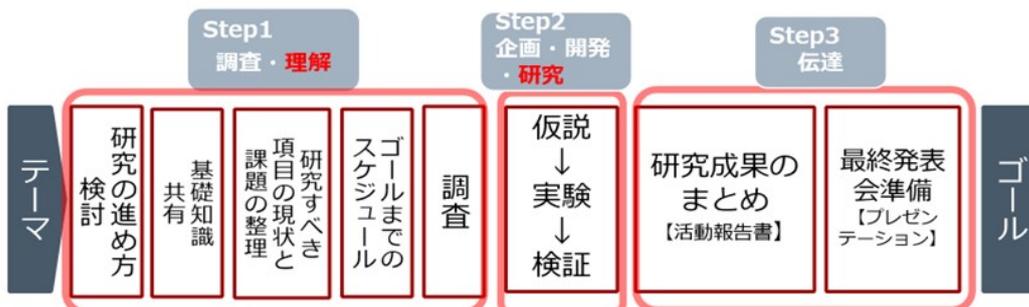
➢ 皆様の研究は、運営委員、サポート委員、アドバイザー、事務局が支援



■ スケジュール



■ 研究活動とは



《添付資料2》 2023年度研究活動 募集キーワード一覧

No	キーワード	募集対象組織	キーワード選定理由
1	デジタルツイン	ユーザー企業の経営戦略・情報システム部門	センサーなどのIoT機器や5G等の通信環境の普及もあり、デジタルツインと言う言葉が出てきた頃とは環境が様変わりしてきています。リアルタイムな情報を基に「今後期待されるデジタルツイン」について、最新状況を元に改めて検討する良いタイミングと考えます。
2	Web3.0	全組織対象	GAFAsが世界のビジネス基盤として揺るぎないものとされてきましたが、Web3.0(ブロックチェーンを基盤)の発展とともにビジネス基盤の変革も起きつつあります。メタバースやアバタービジネスの展開を想定しビジネスへの活用方法を探る時期に来ているのでは。
3	Well-being	全組織対象	ダイバーシティが叫ばれ、誰もが安心して暮らせる世の中を作ることが求められている中、Well-beingにより個人、組織、そして社会が幸せを感じられる継続的な活動に繋げる為に具体的に何が出来るのかが問われてきています。特に企業内でのエンゲージメント向上に繋がる具体的な施策が求められています。
4	アバター	全組織対象	ローソン×AVITA アバター活用で協業開始！のニュースが去年9月に駆け巡りました。本件は単にコンビニのサービス変革だけではなく、全ての接待を伴うサービスにおいて検討する価値がある内容と考えます。そこに居なくても良いビジネスを如何に検討出来るか、色々なアイデアが浮かんでいきます。
5	スーパーアプリ	全組織対象	海外企業に立ち向かっていくには欠かせないとされているスーパーアプリ。普及することで私たちの生活がどう変わっていくのかを考えると楽しくなってきます。便利な世の中、楽しい未来について検討する事で何かが持ち帰れるのでは。
6	エアモビリティ、ドローン、次世代無線ネットワーク	ユーザー企業の情報システム部門 マーケティング部門	これまでは地上での活動を中心に考えてきましたが、5Gやドローンなどの新たな技術の出現により「空間も新しいビジネス領域に」変わっていきます。この空間を利用した新たなビジネスの可能性について技術トレンドから未来像を調査し利用ニーズを膨らませる。
7	バーチャルオフィス、仮想空間	ユーザー企業の情報システム部門 マーケティング部門	コロナ禍によりデジタル空間を利用した新たな働き方が促進されてきました。今後5Gやポスト5Gをはじめとした次世代移動通信がインフラが主流になりSociety5.0を目指した活動がますます活発化すると見込まれています。その中でもメタバースへの期待感から、バーチャルオフィスでの働き方にも注目が集まっており既にいくつかのシステムが提供されてきています。実務での適用について可能性を調査出来る時期になってきたかと。
8	メタバース	ユーザー企業の情報システム部門 マーケティング部門	メタバースが注目されていますが、どのような領域の課題解決に役立つか。メタバースを適用出来るような領域のあたりをつけ、課題解決の可能性を探っていく。
9	クラウドアプリケーション	DX,IT企画、開発担当部門	オンプレミスからクラウド環境で(汎用的に構築されている)稼働する業務アプリケーションが様々に台頭しています。幾つもの組み合わせや利用方法があり、また商品の入れ替えも激しい中、自社構築ではなく汎用的な業務アプリケーションをどう組み合わせるかが重要になってきています。今後の業務アプリケーション 開発方針を策定する時期にきているのではと考えます。
10	人財育成	経営、部長、人事	企業競争力をつける為にDX推進が叫ばれ、各社ともIT業務の内製化を急いでいます。しかしながらDXを推進出来るメンバーは限られており、新規採用メンバー育成に加え、既存IT要員のDX内製推進力・IT職転換・シニア社員の利活用など幅広い層でのDX人材育成が叫ばれています。DX人材のあるべき姿や育成の方向性、ジョブ型人事制度への対応等、先行企業をベンチマークする価値は非常に大きいかと。
11	ChatGPT	全組織対象	研究活動参加者アンケートの中で「どんなテーマがあったら参加したいですか、次年度にあつたらよいテーマはありますか」の設問に最も回答が多かったキーワードであり、今話題のキーワードである為。

■ 概要:

上記研究テーマキーワードよりお選びいただくか参加メンバーで議論し、上記以外のテーマを決め活動していただきます。

■ 進め方:(案)

- 5 月:発足式、役割分担の取決め
- 6 月:勉強会
- 6 月:研究テーマに関する情報収集、調査
- 7 月:研究テーマに関する意見交換、絞り込み
- 8 月:研究テーマの確定、活動方針策定
- 9 月:試行検証の検討と仮説の検討
- 10 月:試行検証の実施と仮説の立証
- 11 月:研究結果集計と考察
- 12 月:活動報告書準備
- 1 月:活動報告書作成、報告書提出(1月末)
- 2 月:支部発表会準備、新潟発表会(2月下旬)
- 3 月:全国発表会準備、全国発表会(3月上旬)

■ 募集対象者:

- ・部門を問わず情報収集や調査、他社との意見交換に興味のある方。
- ・1年間、継続してご参加いただける方。

《添付資料3》

BIPROGY研究会新潟支部事務局 行

BIPROGY研究会「新潟支部研究活動」参加申込書

■【個人情報の取り扱いについて】

ご入力いただくお客様の個人情報は、BIPROGY株式会社、並びに当社のグループ企業、及びBIPROGY研究会が、1)本セミナーに関する連絡・確認、2)当社および当社のグループ企業等からの製品・サービスに関する情報提供、イベント・セミナー等のご案内及びマーケティングの目的で利用させていただきます。

ご入力いただいたお客様の個人情報については、当社の「個人情報保護基本方針」に従い、厳正に取扱います。なお、個人情報の開示、訂正、削除、情報提供の停止等のお申し出、その他ご質問がございましたら、下記のお問合せ先までご連絡いただくか、当社ホームページからお申し出ください。また、当社グループ企業への個人情報の提供と、各社の個人情報保護方針については、下記リンク先よりご覧ください。

－当社グループ企業への個人情報の提供について <https://www.biprogy.com/com/privacy/>

－BIPROGYグループ企業 各社個人情報保護方針 <https://www.biprogy.com/com/privacy/group.html>

－BIPROGY研究会 個人情報保護方針 <https://www.biprogy-ken.com/privacy.html>

以上の個人情報に関する取扱いにご同意いただけましたら、次の「同意する」にチェックをお願いします。

【個人情報管理者】BIPROGY研究会事務局 事務局長

同意する

【個人情報の問合せ窓口】BIPROGY研究会新潟支部事務局

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通 1-2-25 北越第一ビル 電子メール:biprogy-ken-niigata@biprogy.com

■【ご参加者】

複数名ご参加の場合は本紙をコピーの上ご利用下さい。

会 員 名			
電話番号	()		
FAX 番号	()		
住 所	〒 (会員以外の方はご記入下さい)		
フリガナ 参加者名		所 属 役職名	
メールアドレス			
備考			

事務局欄

--	--	--	--